

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット — 22頁

## 4 北方への広がり—奥六郡の北へ—

### ② 閉伊～糠部 沿岸部の遺跡

#### 八木沢駒込Ⅱ遺跡（宮古市大字八木沢）(2)

八木沢駒込Ⅱ遺跡の南側に隣接する八木沢野来遺跡では、12世紀の中国産白磁碗片が出土しており、ここでも12世紀の人の動きが存在したことを示しています。なお、この八木沢野来遺跡の白磁片は、さらに1km程南に所在する金浜Ⅰ・Ⅱ遺跡出土（試掘調査にて出土）の白磁片と接合しました。このような離れた距離での接合は稀有なことといえます。

さらにこれは、八木沢駒込Ⅱ、八木沢野来遺跡などの12世紀の遺物、遺構に係わる者の居館が、津軽石川河口近くの金浜Ⅰ・Ⅱ遺跡付近に所在することを示すのかもしれない。この他、宮古市周辺では12世紀代の陶器が、磯鶏館山、赤前Ⅰ牛子沢、弘川Ⅰ、島田Ⅱ遺跡等で出土しています。

## 《《《 4月～5月 行事予定のお知らせ 》》》

<p>令和3年度定期総会 4月11日(日曜日) 午後1時30分から赤石公民館講堂 議案 ①令和2年度事業・決算報告 ②令和3年度事業計画・予算 ③役員改選</p>		
<p>4月21日 (水曜日)</p>	<p>第119回 月例発表会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 会場 赤石公民館 講義室 発表者：阿部朋巳 テーマ「金色堂の話1」 発表者：宮良男 テーマ「日本の仏経 11・12」 ※ 2月の資料を持参してください。</p>
<p>5月19日 (水曜日)</p>	<p>第120回 月例発表会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 会場 赤石公民館 講義室 発表者：阿部朋巳 テーマ「金色堂の話2」 発表者：浅沼幸男 テーマ「片寄城と中野吉兵衛2」 ※ 2月の資料を持参してください。</p>

□ 紫波町発掘調査報告会(紫波町教育委員会主催、紫波の歴史・文化連絡会共催)が、令和3年3月14日(日)に紫波町情報交流館大スタジオで開催され、令和元・2年度に調査した比爪館、桜町中屋敷、田頭Ⅱ、南日詰大銀Ⅰなど、7遺跡についての報告がありました。比爪館遺跡第33次調査では、これまで比爪館遺跡や柳之御所跡からも出ていない堀跡・土橋跡・門跡がセットで発見された非常に重要な報告もありました。(詳細は裏面をご覧ください。)

また、同時に行われた町内郷土史関係団体活動報告には、史跡五郎沼愛護会・紫波歴史研究会・紫波歴史探訪塾・観光交流協会歴史遺産委員会等の9団体が参加。本会は、櫻井早苗事務局長がコロナ禍を克服した現地研修など令和2年度の活動状況について発表しました。

【紫波町発掘調査報告会資料:比爪館跡第33次調査】 <令和3年3月14日 紫波町教育委員会>

遺跡の概要

1 位置と立地

- ◎ JR東北線日詰駅の南東約350m、紫波郡紫波町南日詰字箱清水地内に位置します。
- ◎ 奥羽山脈から溢れ出て北上川に注ぐ小河川群によって広く扇状地や氾濫低地が形成された微高地に立地しています。

2 周辺の遺跡

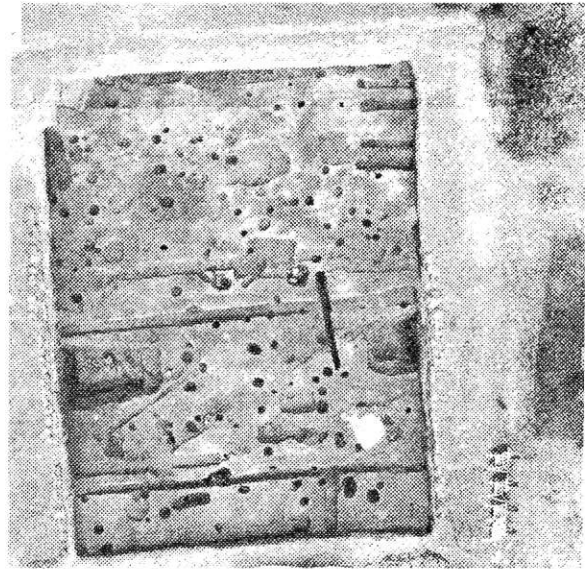
- ◎ 北日詰東野ノ坊Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ遺跡
- ◎ 南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡
- ◎ 南日詰大銀Ⅱ遺跡

まとめ

比爪館跡第33次調査で検出された遺構は、竪穴住居跡1棟、掘立柱建物跡4棟、門跡1ヶ所、堀跡2条、塀跡4条、土橋跡、陥し穴1基、土坑跡11基、溝跡4条、柱穴101口 になります。

また、出土遺物は、土師器坏・甕、須恵器甕、かわらけ(ロクロ・手づくね)、土師質土器、国産陶磁器(常滑産) などです。

今回の調査区は、紫波町立赤石小学校に隣接する場所で比爪館跡の中心部に近い所の発掘調査であり、確実に沢山の遺構が発見されることは想定していました。しかし、これまで比爪館跡や柳之御所跡からも発見されていない堀跡と土橋跡と門跡がセットで発見されたことは、考古学的にも、また、中世の様相を知る上でも非常に重要なことです。

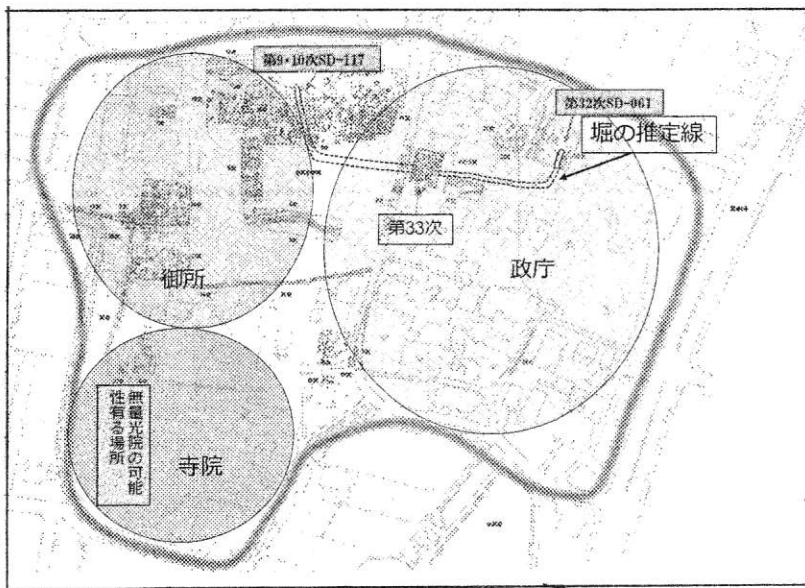


比爪館跡第33次調査区 空撮

比爪館跡第9次・10次調査で発見された堀跡と、この第33次調査で発見された堀跡が、規模(幅と深さ)と出土(かわらけ)量が非常に類似しています。

以上のことから、双方の堀跡は繋がっていた可能性が窺えます。

また県立博物館が地形測量を実施し、3つのエリア(御所跡・政庁跡・寺院跡)に区分されるのではないかと調査結果を示しています。このことから、堀跡と土橋跡と門跡がセットで発見された場所はまさしく政庁の入り口に位置するのではない



これまでの発掘調査遺構配置図と県立博物館の地形測量の結果

かと推測されます。

今回の第33次調査で発見された遺構性格および様相についてはまだ調査中です。これまでの比爪館跡の発掘調査を見直し検討しながら、柳之御所跡の調査データも視野に入れていくことで、新しい知見が見つかると思われます。